全Ｌ協保安・業務Ｇ５第１３９号

令和５年１０月２７日

正会員　各位

（一社）全国ＬＰガス協会

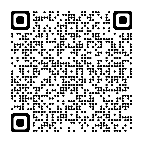
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する

政令案等に対する意見募集について　　　　　　(お知らせ)

標記につきまして、e-ＧｏｖのＷｅｂサイトに掲載されましたので、お知らせいたします。

つきましては、本改正にご意見がある場合は、同Ｗｅｂサイトの意見提出フォームによりご提出（令和５年１１月２４日締切）をいただくとともに、当協会にもその内容をご送付くださいますようお願いいたします。

なお、詳細については下記ＵＲＬよりご確認くださいますようお願いいたします。



○掲載アドレス

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=145210186&Mode=0>

○主な概要

バルクローリーについては、液化石油ガス法による充てん設備としての許可等と、高圧法による移動式製造設備としての許可等を受けているものがある。

その場合（双方の技術基準を引用する場合など）、両法の許可等を個別に受けるため、両方の手数料が必要になることから、国の審議会（液化石油ガス小委員会等（令和５年３月１５日））において、事務手続きの合理化によって、手数料を低減し、又は不要とする方針が了承された。

なお、標準的なバルクローリーの処理容積（25,000㎥～100,000㎥）では高圧法の許可を受ける場合、21,000円の手数料が定められており、今回の改正により液石法の許可を受けたバルクローリーが高圧法の許可を受ける場合においては6,000円の手数料改正案が示された。

以　上

発信手段：Ｅメール

担当：保安・業務グループ：瀬谷、森、橋本